

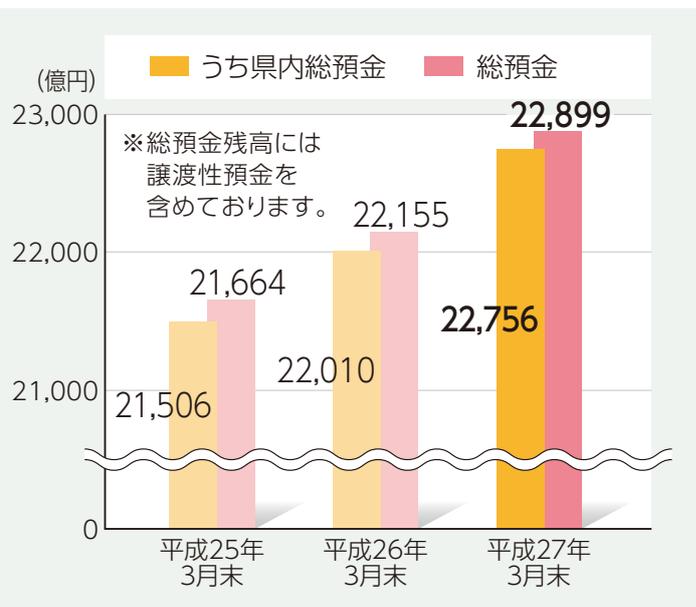
業績のご報告(単体)

平成27年3月期の業績につきましては、預金・貸出金が順調に増加し、投資信託や保険商品の販売も好調に推移しました。また、お取引先の経営改善が進み、与信関係費用が縮小したことなどから、経常利益・当期純利益ともに増益となりました。経常利益につきましては過去最高益を計上しております。

(注) 当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

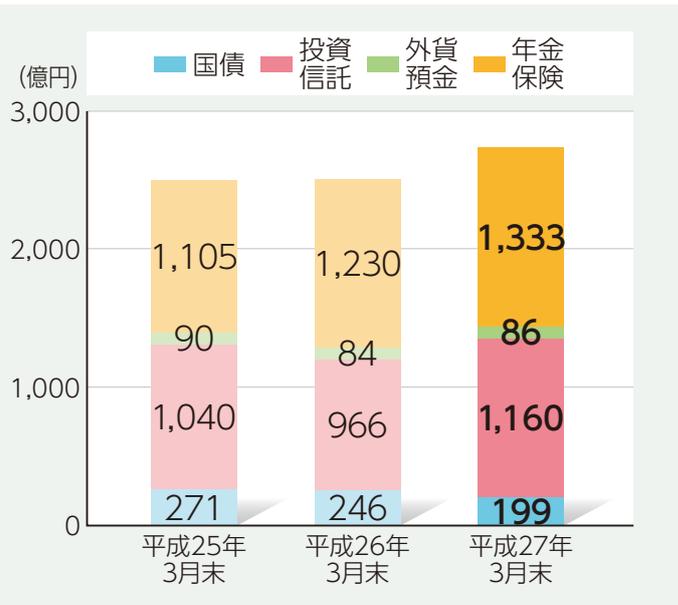
総預金残高

総預金残高は、個人預金の増加などから前期比744億円増加し、2兆2,899億円となりました。



預り資産

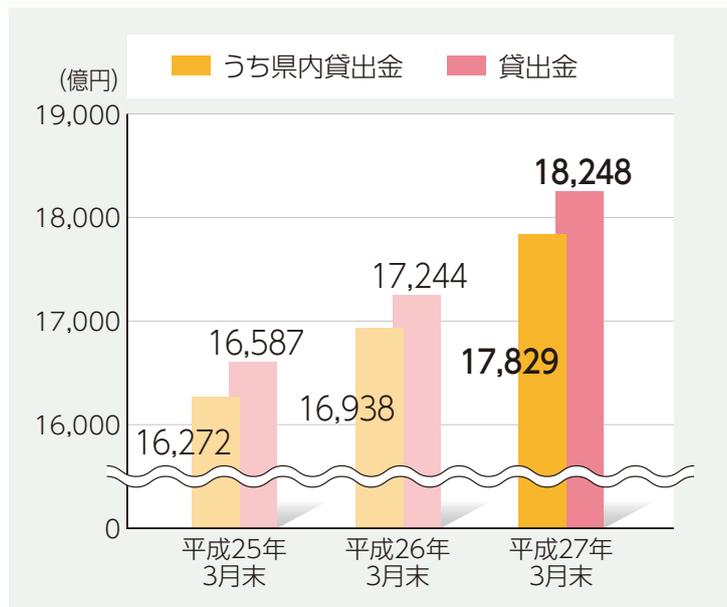
投資信託は、前期比193億円増加の1,160億円、年金保険は、102億円増加の1,333億円となりました。



グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

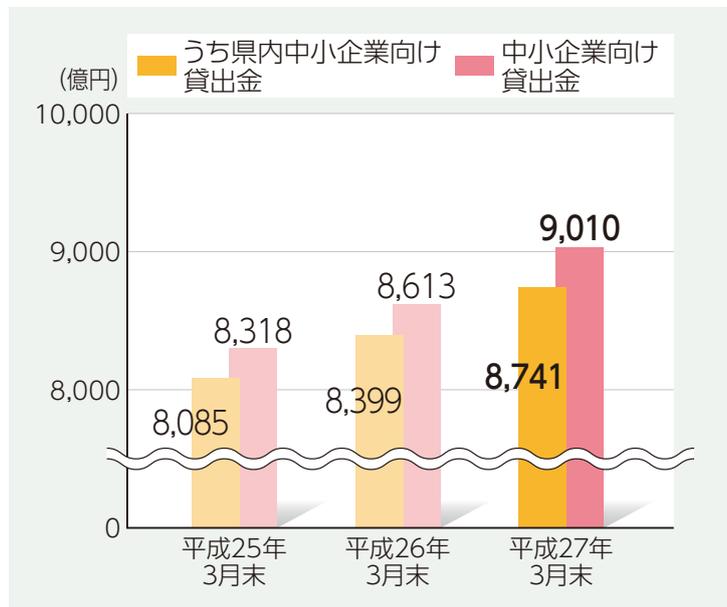
貸出金残高

貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えした結果、前期比1,003億円と大幅に増加し、1兆8,248億円となりました。



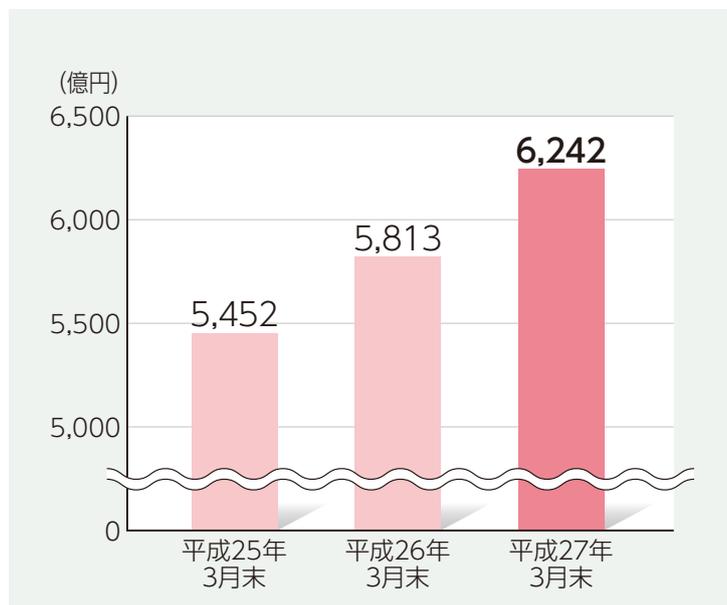
中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前期比397億円増加し、9,010億円となりました。



住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等により、前期比428億円増加し、6,242億円となりました。



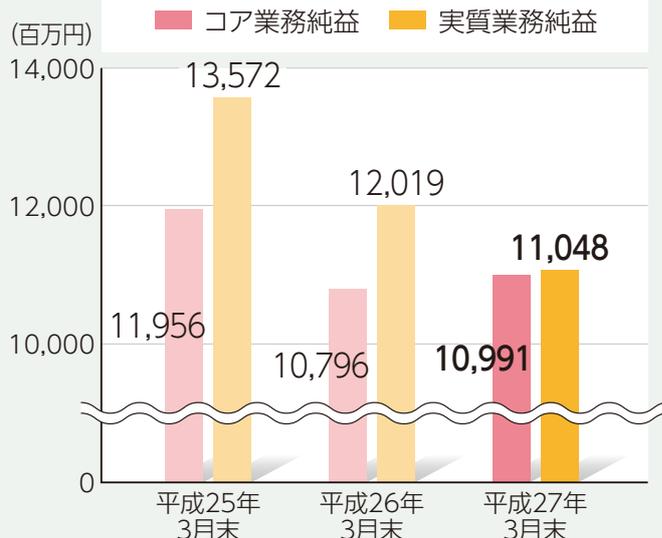
コア業務純益・実質業務純益

コア業務純益は、前期比1億94百万円増加し、109億91百万円となりました。

実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益)は、経費の増加などから前期比9億70百万円減少し、110億48百万円となりました。

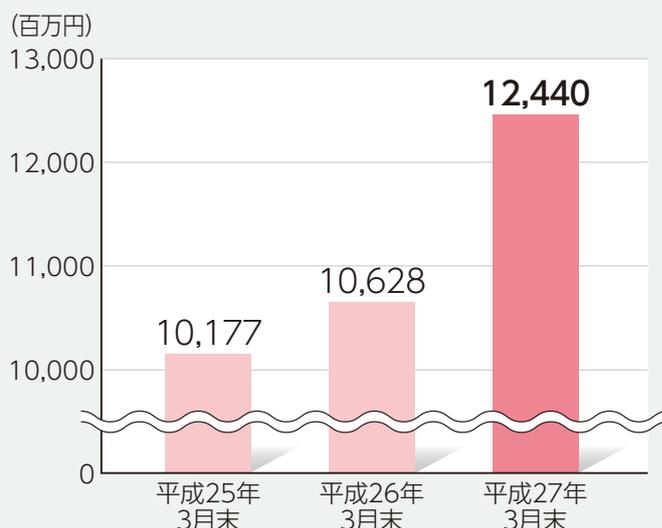
コア業務純益

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} - \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券関係損益}$$



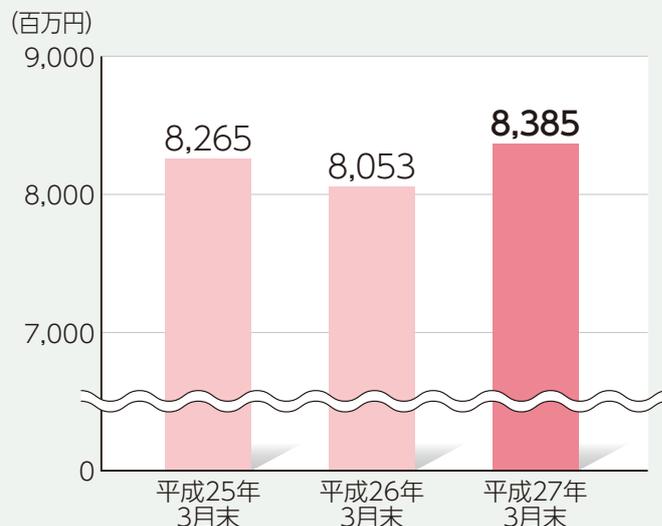
経常利益

経常利益は、前期比18億12百万円増加し、過去最高の124億40百万円となりました。



当期純利益

当期純利益は、前期比3億32百万円増加し、83億85百万円となりました。



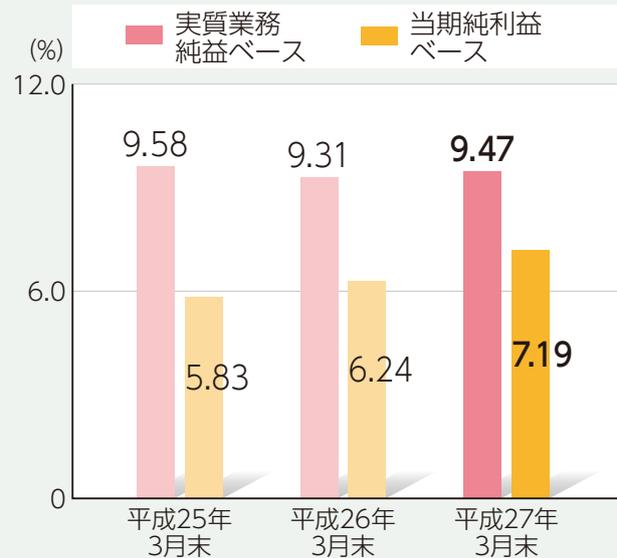
ROE(株主資本利益率)

実質業務純益ベースでは、前期比0.15ポイント上昇の9.47%、当期純利益ベースでは、前期比0.95ポイント上昇の7.19%となりました。

ROE(実質業務純益ベース、当期純利益ベース)

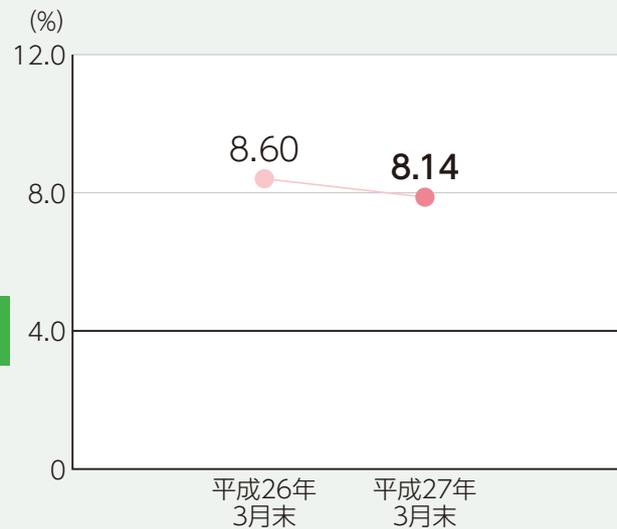
ROE (株主資本 = 純益利益率) = $\frac{\text{実質業務純益(当期純利益)}}{\text{純資産の部合計(平残)}} \times 100$

値が大きいほど株主資本の「収益性」が高いことを示しています。



自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、第一回第一種優先株式について平成26年9月12日に全株式を取得し、消却したことによる自己資本の額の減少(50億56百万円)等の結果、前期比0.46ポイント低下の8.14%となりました。



国内基準

開示債権比率等(金融再生法基準)

お取引先企業とのリレーション強化、経営課題解決への支援強化に取り組んだ結果、金融再生法基準の開示債権比率は前期比0.45ポイント減少の1.97%、正常債権を除いた「開示債権」の当期末残高は、前期比60億円減少の370億円となりました。

